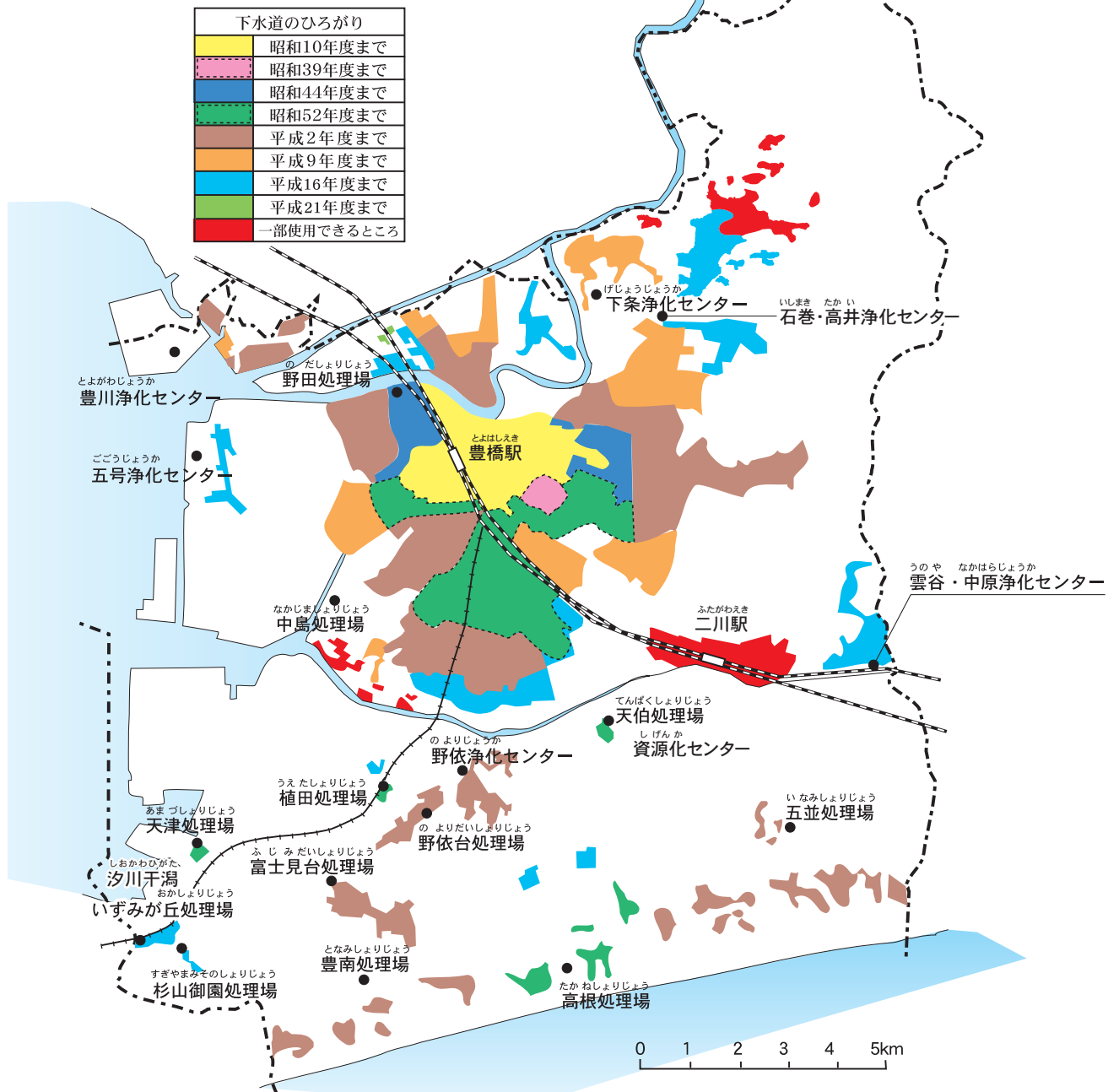
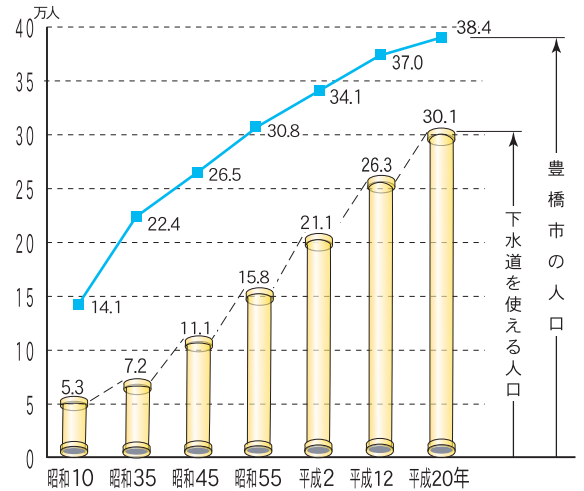


1 1 豊橋市の下水道のうつりかわり

豊橋市の下水道は、1931年(昭和6年)に工事をはじめ、日本の都市の中で4番目に早く、1935年(昭和10年)に野田^{しりじょう}処理場の運転を始めました。それから下水道の使える区域^{くいき}を広げたり、下水^{しりじょう}処理場の建設^{けんせつ}もすすめ、今では、約30.1万人が下水道を^{やく}使えるようになっています。しかし、まだ下水道のないところも多いので、これからも計画的に工事を進めていきます。

豊橋市の人口と下水道を^{やく}使える人口のうつりかわり



12 川のよご汚れぐあい

社会や経済の発展とともに川や海の汚れが目立つようになりました。

わたしたちが生活していくということは、環境に負担をかけていくことなのです。わたしたち一人一人が気をつけて、川や海を汚さないようにしましょう。



「BOD」とは、川の水のよごぐあいはかを測る「ものさし」です。
 コイやフナはBODの数で5~10mg/l以下の水でないと生きていけません。
 ※海の水と川の水では「ものさし」がちがうことに気づきましたか？

